

第48回 鉄分を補給するくすり

体の中に必要な金属は銅、亜鉛、マンガンなど様々なものがありますが、その中でも一般的に広く知られているのが鉄分です。体の中に鉄分が少なくなると貧血になるというのは、医療にかかわっていない人も当然の知識として知っているでしょう。（細かく言うと貧血は鉄分がかける以外にも原因はたくさんあります）そんな鉄分なので、医者にかかって薬を出されなくても、ドラッグストアなどで買って飲んだことがある人は女性を中心に非常に多いと思います。また、鉄分を多く含む食品としてレバーやほうれん草などがあり、積極的にそういったものを摂るようにしている人も多いでしょう。そんな一般的に広く使われている鉄分を補給するくすりですが、くすりとしては注意点多く少々厄介です。まず、副作用ですが、代表的な副作用に消化器症状があります。鉄分が胃や腸を刺激するため、胃痛や吐き気、下痢などの症状が起こることがあります。このため、胃薬と共に処方されたり、本来は吸収が良いのは空腹時なのですが、胃腸への副作用防止と飲みやすさから食後で出されたりすることも多いようです。以前はお茶やコーヒーと飲むと鉄分の吸収が邪魔されるため、同時に飲まないようにと言われていましたが、最近はお茶などで邪魔される以上の鉄分がくすりには含まれることや、鉄分が体に足りてなければ、体内に吸収する力も強くなるため、お茶などによる影響はほとんど無いとされています。

鉄分の補給は、貧血の検査値が改善したからと言ってすぐにやめてしまってもいいものではありません。体内で鉄分は肝臓や脾臓などに蓄積されており、実際に貧血の症状が出るのは、体内で蓄積された鉄分を使い切ってからです。そのため、鉄分が欠乏したことによって起こる貧血では、貧血の検査値が改善してからも、数カ月間鉄分を補給しなければならぬため、自己判断で止めずに必要な期間飲まなければいけません。

それでは当院に採用されている鉄分を補給するくすりについてみていきましょう。

フェロチーム：特になし

フェログラデュメット：“ferro”（二価の鉄）と“gradually melt”（徐放）を合わせてフェログラデュメット（Fero-Gradumet）、鉄が徐々に放出されることを意味している。

フェルムカプセル：Ferrous fumarate（フマル酸第一鉄）という一般名より

インクレミンシロップ：incre（increase:増加させる）+min（amine, vitamin:アミンとビタミン）ヒトの発育に必要なアミンとビタミンを含む栄養治療剤という意味（現在は処方に変更され、鉄剤のみであるが変更前の名称をそのまま使用している）

フェジン注：鉄 Fe より

次回は、インスリンです。